

## 令和5年度中予地方局予算事業成果表

### 1 基本事項

- (1)事業名 移住・定住推進団体活動支援モデル事業費  
(2)事業期間 令和4年度～令和5年度  
(3)所 管 地域産業振興部 地域政策課  
(4)予算額 913千円

### 2 事業目的

住民自ら移住促進に取り組み、成果を挙げた旧双海町翠小学校区の事例を参考に、管内の重点3市町（東温市、久万高原町、砥部町）から推薦のあった住民団体の移住・定住促進活動を支援することによりモデルを確立し、管内他団体への波及・浸透を図る。

### 3 主な取組（何をしたか）

#### (1) 連携や取組内容の充実を図るための情報共有

○モデル団体や市町担当者と取組みの進捗や課題解決の方法などを共有するため、意見交換を行った(373千円)



#### (2) 移住・定住促進活動の支援

○モデル団体が4年度に作成した移住者獲得ビジョンに即したWS(ワークショップ)を開催し、具体的な活動やビジョンのブラッシュアップに取り組んだ。(368千円)

○東温市:美しい里山河之内…国立大学法人愛媛大学井口准教授のもと、学生の協力も得ながら4回のWSを実施

○久万高原町:仕七川校区の未来を築く絆の会…えひめ暮らしネットワーク本多参事による4回のWSを実施

○砥部町:元気・ひろたを考える会…どい書店岡山紘明氏による4回のWSを実施



【ワークショップ】

#### (3) モデル団体の活動実績の評価・検証、効果的な展開

○モデル活用・普及検討会の開催、報告書作成(172千円)

・活動実績等を団体や市町間で共有のうえ、評価・検証し、管内への効果的な展開につなげるため、検討会を実施

・内容:モデル団体による活動実績報告及び意見交換、講評(国立大学法人愛媛大学前田教授)

・22名参加(住民団体7名、市町職員9名、県職員6名)



【モデル活用・普及検討会】

### 4 成果（何がどう変わったか）

移住定住促進のために何から取り組んだらいいのかわからないと言っていた住民団体が、WSなどを通じて、自分たちが作成したビジョンに沿って具体的な活動に取り組むなど、移住定住促進に取り組む素地を整えることができた。今後は、団体が自発的かつ継続的に活動できるよう支援するとともに、管内の他団体とも各地域の将来を共に考えながら、地域課題の共有や助成制度の紹介など住民に寄り添った活動を行う。